

各位

店

平成14年4月26日

株式会社フォーカスシステムズ
代表取締役社長 石橋 雅敏
(登録銘柄 コード番号 4662)
問い合わせ先 専務取締役 畑山 芳文
TEL 03-5421-7777

平成14年3月期通期業績予想の修正について

平成13年11月22日付「中間決算短信及び中間連結決算短信」発表時の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 単独業績予想の修正 (平成13年4月1日～平成14年3月31日) (単位:百万円・%)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想 (A)	14,500	750	36
今回修正 (B)	13,780	100	600
増減額 (B-A)	720	650	636
増減率	5.0%	86.7%	-

ご参考: 前々期の実績 (平成12年4月1日～平成13年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
通期 (12/4～13/3)	13,316	1,081	458

2. 連結業績予想の修正 (平成13年4月1日～平成14年3月31日) (単位:百万円・%)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想 (A)	15,500	800	40
今回修正 (B)	14,450	150	600
増減額 (B-A)	1,050	650	640
増減率	6.8%	81.3%	-

ご参考: 前々期の実績 (平成12年4月1日～平成13年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
通期 (12/4～13/3)	13,572	1,046	488

3. 修正理由

(1) 単独業績

前期の売上は、前々期比+464百万円、計画比 720百万円となりました。従前主要顧客の売上は増加したものの、新規顧客先は計画ほど増加させられなかった。

経常利益は、人件費・教育研修費・C4暗号技術製品の研究開発費増加及び新規受託先での初期投資増加と既受託先の単価引き下げによる採算悪化プロジェクトにより100百万円の見込みとなりました。

当期利益は、特別損失の有価証券評価損と貸倒損失の発生より 600百万円の見込みとなりました。

平成14年3月期の配当は、今期の業況改善を見込んでおり当初計画どおり1株当たり12円を提案させていただく予定であります。

(2) 連結業績

前期は、上記の単体決算をうけ、前々期比増収減益となりました。

当社が第三の柱として注力展開しております「暗号技術C4」の当該期売上は560百万円でありました。

以上